

下期門徒会費収納会・第4,5回茶話会 ご報告、除夜元旦会・御正忌報恩講・第6回茶話会 ご案内

つい先日まで緑の葉を茂らせていた銀杏の木。大気の冷えこみにつれ、黄金色に輝きはじめたかと思えば一気に散り去って、まるで「年越しの準備を急げ、急げ」とお尻を叩いてくれているかのようです。

過日、明行寺では、ご門徒・講中・役員の皆さまのお蔭様により、下期門徒会費収納会を無事に終わることができました。護寺運営に変わらぬお力添えをくださいますこと、改めて御礼申し上げます。使途の詳細につきましては、例年の通り3月の決算報告にてご確認くださいませようお願い申し上げます。

また、毎月の茶話会では、西光寺宿利宏住職のご協力による5・1chサウンドシステムと100インチ大画面での映画鑑賞会、次いで、住職の幼馴染であり現在は春日市にて整骨院を開業されている藤田東志先生による、一人ひとりの姿勢チェックと改善指導のお話会が行われました。その他、11月の秋晴れの日に、所縁の方の仏前結婚式が勤まりました（詳細は裏面にレポートしております！）。

さて、もういくつか寝るとお正月です。これからの明行寺では、大晦日の除夜会（鐘撞き）・1月1日の元旦会、そして1月15・16日の御正忌報恩講を気をつけながらお勤めする予定です。特に御正忌につきましては、別途講中の方を中心に詳細をご案内致しますので、ご確認くださいませ。大晦日からは、例年通り竹灯籠のお飾りを考えているほか、糸島市で瓢箪農家を営みながら制作を行っている龍石修さんによる瓢箪ランプ作品の展示を予定しております。本年の結び・初めに、ぜひお参りくださいませ。

7月以降毎月実施しております茶話会「喫茶去明行寺」は、次回12月15日（水）に第6回を予定しております。寒さに負けず、みんなで大きな声を出す歌の会を実施予定です。皆さまのご参加をお待ちしております！（尚、1月は御正忌のため、お休みとなります）

合掌



茶話会で映画鑑賞



蜜柑の実り！



収納会お疲れ様でした！



藤田先生の姿勢のお話



明行寺の銀杏の絨毯



新栄町で弾き語りのご縁



大牟田市のフリーペーパー「どがしこでん」で湯谷が特集されました！（そして幸運にも表紙に...）

12～1月の予定（新型コロナウイルスの影響を鑑みて以下の通りと致します）

- 【中止】 12月4日（土）13時半～ 元中通り組蠟燭講 御消息披露法要 @光徳寺
- 【実施】 12月5日（日）8時半～ 除草作業・おみがき @明行寺（担当地域：大谷・飛ヶ塚）
- 【実施】 12月15日（水）14～17時 茶話会「第6回 喫茶去明行寺」@明行寺 ※お申込みは、～12月14日（火）まで
- 【実施】 12月31日（金）23時半～ 除夜会 @明行寺 ※粕汁と書初めをご準備する予定です
- 【実施】 1月1日（土）10時～ 元旦会 @明行寺 ※お節のふるまいは行いません
- 【実施】 1月13日（木）8時半～ 御華束作り（担当地域：真弓上） / 境内・竹藪清掃（役員・講中）@明行寺
- 【実施】 1月15日（土）・16日（日）13時半～ 御正忌報恩講 @明行寺 ※詳細は別途案内をご確認ください

< 初！諸縁の方の「仏前結婚式」レポート >

住職の幼馴染であり、日頃からお寺の片付けなど困った時にはいつも手を貸してくれていた西山さんと、若坊守がお寺の用事で出かけた銀行で担当者となり、何度か話すうちに意気投合した大井さん。そんな二人が明行寺で、筍堀りをご縁に出逢い、めでたくご結婚の運びとなりました。そして11月の秋晴れの日、ご家族やご友人に囲まれ、美しく、温かい仏前結婚式が明行寺本堂に於いて勤まりました。（歴代住職の式を除けば、一体いつぶりでしょうか！）有難いご縁に、感動もひとしおです。そしてその分、事前の準備や当日の運営など、本当に多くの方々の手厚いご指導とお力添えを頼りに実現された式でもありました。境内の石の敷き直し、木々の剪定、清掃、濡れ縁の整備、ご本堂の網戸の張替え、広間の障子の張替えといった場所を整えること。お荘厳に雅楽演奏、式次第や各種道具の手配など法要・儀礼を調えること。ご来賓の方々のお迎え、おもてなし、そして式を滞りなく進行させ、最後には片付けること。みなさまの手助け、お心遣いの数々は正に枚挙にいとまがありません。お忙しい最中、本当に、本当に有難うございました。割いてくださったお時間、労力、お心に報いるべく、引き続き精進して参ります。



式に臨む新郎新婦



全員で記念撮影



お蔭様で無事にお勤め



濡れ縁を削って塗り直し...



新郎友人による仏旗掲揚



新郎新婦と愉快的な仲間たち



本堂の網戸も張替え...



多くのお力添えに感謝！

== コラム「位牌を拝まないのは、どうしてですか？」 ==

位牌は、もともと仏教とは関係のない儒教の習慣からきたものです。儒教では、亡くなった人の生前の官位や姓名などを記した板に、死者の霊が宿るといわれ、これを祀ったり拝んだりするそうです。日本には平安時代後期から鎌倉時代初期にかけて禅宗とともに伝わり、江戸時代に先祖崇拜と結びついて広がりました。そのため位牌は、死者の霊を祀るものであるとして、お仏壇に入れる方も多ようです。

しかし、浄土真宗では位牌を拝むことも、位牌をお仏壇に入れることもしません。なぜならば、阿弥陀如来のはたらきによって、お念仏申す人は、間違いなく浄土に往生して仏に成るという、親鸞聖人の教えに基づいているからです。

つまり、浄土真宗の礼拝の対象は、苦悩の私たちを救いとってくださる、阿弥陀如来一仏ですから、位牌を礼拝の対象とすることは無いのです。また、お仏壇はご本尊の阿弥陀如来をご安置するところですので、位牌を置くことはありません。

なお亡くなった方の法名や俗名、命日などは「過去帳」に記入します。過去帳はお仏壇の正面を避けて置くようにしましょう。

前田壽雄師

昭和49年北海道生まれ。浄土真宗本願寺派専念寺衆徒。武蔵野大学仏教文化研究所研究員、通信教育部人間科学部人間科学科准教授。浄土真宗本願寺派東京仏教学院研究科講師。著書に『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』『教行信証のことば一やさしい法話一』（本願寺出版社）がある。明行寺住職が神奈川県の上正寺でお勤めてしいたご縁で出遇った恩師。

明行寺 ホームページアドレス
<https://www.myogyoji1620.com>

▼ 明行寺HP ▼



YouTube



Instagram